

新聞をヨム日 公開シンポジウム

「活字文化があぶない！ —メディアの役割と責任—」

日本新聞協会（新聞・通信・放送143社が加盟）は、春の新聞週間の始まる4月6日（新聞をヨム日）に、文字・活字文化の重要性を考える公開シンポジウムを開催します。

近年、若者の文字離れ、活字離れが進み、若者のリテラシー（読み書き能力、教養や常識）の低下が大きな問題となっています。昨年7月には「文字・活字文化振興法」が施行されましたが、文字・活字文化の衰退は、日本の将来、民主主義に深刻な影響を与えかねません。

シンポジウムでは、若者世代の新聞閲読や読書傾向、リテラシーの低下がどのような問題を引き起こしていくのか。また、こうした問題への新聞をはじめとするメディアの役割とは何かなどについて論じていただきます。

日 時：2006年4月6日（木）午後1時30分開場

会 場：プレスセンターホール

東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル10階

都営地下鉄内幸町駅、東京メトロ霞ヶ関駅から徒歩5分、JR新橋駅から徒歩8分

基 調 講 演 午後2時

「危機の活字文化とメディア」 柳 田 邦 男 氏（作家）

パネルディスカッション 午後3時20分

「活字文化があぶない！メディアに問われるもの」

コーディネーター：藤 田 博 司 氏 早稲田大学客員教授（ジャーナリズム論）

パネリスト：鹿 島 茂 氏 共立女子大学文芸学部教授（仏文学）

鈴木 秀美 氏 大阪大学法科大学院教授（憲法学）

山 川 洋一郎 氏 弁護士

山 本 哲 朗 氏 山口大学工学部教授（土木工学）

《お申し込み・お問い合わせ》

参加ご希望の方は、住所、氏名をご記入のうえ、往復はがき、ファクス、Eメールのいずれかで3月31日（金）までに、日本新聞協会「公開シンポジウム」係までお申し込みください。400名様をご招待します。

〒100-8543 東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル

電 話：03-3591-4402 ファクス：03-3591-6149

Eメール：np46day@pressnet.or.jp（添付ファイルは受け付けません）

※ 個人情報、招待状の発送の目的以外には使用いたしません。

《主催》社団法人日本新聞協会

《後援》文化庁、日本書籍出版協会、日本雑誌協会、日本ペンクラブ、日本新聞販売協会